



23

市道天野福田線（あまの街道）
あまのふくだ



DATA・BOARD 23

- ①大阪府大阪狭山市今熊7丁目～大野西
- ②延長：3,223m，幅員：2.5m
- ③散策道，休憩施設，案内板，モニメント
- ④真砂土舗装，自然石，植栽ほか
- ⑤各種団体の歩行会，マラソン大会，オリエンテーリング



「市道天野福田線（あまの街道）」は、陶器山丘陵の尾根を通り、河内長野の天野山金剛寺から紀州の熊野に至る道で、平安後期の高野山詣の盛行に伴って整備された街道である。河内ふるさとのみちにも指定されている市道天野福田線は、自然の残された道として多くの人々に散策路として利用されてきた。

整備にあたっては、自然の雰囲気を残すために路面には真砂土舗装を施したほか、防護柵や舗装止めなどには自然石を使用している。沿道には周囲の景観との調和を図るために自然木で施工した四阿をはじめ、パーゴラ、縁台などを設置して散策に訪れる人々のための休息スポットを設けた。また、歴史的な経緯を紹介したモニメントや案内板の設置も行っている。